

韓国映画上映会

Korean Film Archive
한국영상자료원

50
50
50/50 PROJECT

JAPAN
COMMUNITY
CINEMA
CENTER

1950年代韓国映画傑作選

9月11日(金)～9月22日(火・休)

主催: 広島市映像文化ライブラリー / 一般社団法人コミュニティシネマセンター

作品提供・協力: 韓国映像資料院 The Korean Film Archive(KOFA)

鑑賞料: 大人380円、シニア(65歳以上) 180円、25歳以下無料 **U-25**



『洛東江』



『未亡人』

2026 KOREA WEEK

韓国ストーリーフェスティバル

10月2日(金)～10月4日(日)

主催: 駐広島大韓民国総領事館、広島市映像文化ライブラリー、一般社団法人コミュニティシネマセンター

作品提供・協力: 韓国映像資料院 The Korean Film Archive(KOFA)

鑑賞料: 無料



『自由夫人』



『嫁入りの日』

広島市映像文化ライブラリー

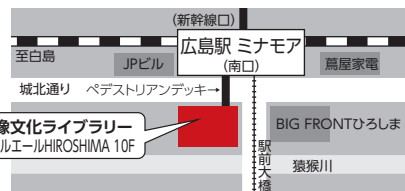
〒732-0822 広島市南区松原町9-1 エールエールHIROSHIMA10階 TEL:082-298-0551 FAX:082-298-0552

交通情報: JR広島駅・広島電鉄広島駅・広島駅バス停から徒歩約5分 専用駐車場はありません

<https://hiroshima-eizoubunka.jp>

■開館時間 月曜日～金曜日 10時～21時 土曜日、日曜日、祝日、8月6日 10時～18時

■休館日 第2月曜日(祝日は開館)、12月29日～1月4日



1950年代韓国映画傑作選

9月11日(金)～9月22日(火・休)

1974年に創設された韓国の国立映画アーカイブである「韓国映像資料院」は、2024年に創設50周年を迎え、記念プロジェクトの一環として「50/50韓国古典映画パッケージ」(1950年代韓国映画傑作選)の海外巡回事業を実施しています。韓国映像資料院が収蔵する50年代の傑作映画のデジタルリマスター版を上映します。
※全てDCP/日本語字幕付き

■ 洛東江 낙동강 NAKTONG RIVER

1952年 46分 監督/チョン・チャングン(全昌根)
朝鮮戦争期に制作されたサウンド、映像とも完全な形で残された貴重な作品。原作はイ・ウンサンの詩で、詩情あふれる映像と朝鮮戦争の記録映像を合わせたセミ・ドキュメンタリー。国家登録文化遺産作品。
●9/11(金)14:30 ●9/12(土)11:00 ●9/13(日)14:30*
*9/13(日)14:30の回、上映後講演(通訳付き・約60分)
ゲスト:オ・ソンチ(韓国映像資料院(KOFA)キュレーター)

■ ピアコル 피아골 PIAGOL

1955年 109分 監督/イ・ガンチョン(李康天)
険しいピア谷^{ピャグ}のバルチザンを取材して脚本が書かれ、高地で撮影された。政府の支援を受け製作されたが、バルチザンの苦悩を人間的に描いたことが問題視され、反共論争に巻き込まれた。国家登録文化遺産作品。
●9/11(金)18:30 ●9/12(土)14:30 ●9/13(日)11:00

■ 未亡人 미망인 THE WIDOW

1955年 76分 監督/パク・ナムオク(朴南玉)
韓国映画初の女性監督パク・ナムオクのデビュー作であり、唯一の作品。朝鮮戦争で夫を亡くし、単身で娘を育てる未亡人の葛藤を描く。最終巻が失われており、ラスト10分の音声欠落している。
●9/18(金)11:00 ●9/20(日)14:30 ●9/22(火・休)11:00

■ 地獄花 지옥화 THE FLOWER IN HELL

1958年 88分 監督/シン・サンオク(申相玉)
朝鮮戦争後、米軍が駐留するソウルへ兄を探しに上京したトンシクは、米軍物資の窃盗団の親分になった兄と再会するが…。朝鮮戦争後の社会を対比的に捉えた、巨匠シン・サンオクの初期代表作。
●9/18(金)14:30 ●9/20(日)11:00 ●9/21(月・祝)14:30

■ お金 돈 MONEY

1958年 124分 監督/キム・ソドン(金蘇東)
朝鮮戦争が休戦し、ボンスは帰還した息子の結婚費用や借金の返済のため、高利貸に米を売るが、巧妙な詐欺師たちに金をだまし取られてしまう。貧しさゆえに破壊していく農民たちの姿をリアリズムで描く。
●9/18(金)18:30 ●9/21(月・祝)11:00 ●9/22(火・休)14:30

鑑賞料:大人380円、シニア(65歳以上)180円、25歳以下無料

U-25

7～9月の上映は25歳以下の方は鑑賞料が無料です。25歳以下の方は年齢のわかる証明書(学生証・運転免許証・マイナンバーカードなど)をご提示により、鑑賞料が無料になります。

2026 KOREA WEEK

韓国ストーリーフェスティバル

10月2日(金)～10月4日(日)

鑑賞料:無料

■ 自由夫人 자유부인 MADAME FREEDOM

1956年 126分 監督/ハン・ヒョンモ(韓滢模)
チョン・ビソクによる新聞連載小説「自由夫人」の映画化。大学教授の妻ソニョンは、洋品店で働き始めたのをきっかけにダンス、社交、恋へと積極的になり、家庭から離れていく。商業的大成功をおさめ、朝鮮戦争後の韓国映画の興隆をリードした作品。
●10/2(金)14:20* ●10/3(土)11:00 ●10/4(日)14:30
*10/2(金)14:20の回、上映前開会式(約10分)、上映後講演(日本語での講演・約30分)
ゲスト:崔盛旭(チェ・ソンウク)(映画研究者)

■ 嫁入りの日 시집가는 날 THE WEDDING DAY

1956年 80分 監督/イ・ビョンイル(李炳逸)
1934年に発表されたオ・ヨンジン(吳泳鎭)の戯曲「孟進士の慶事」の映画化。朝鮮時代、下級役人の一人娘は、高級官吏の息子と婚約したが、彼の足が不自由だという噂が流れ…。韓国映画で初めて国際映画祭で受賞し、韓国映画が国際的に評価される契機となった。
●10/2(金)18:30 ●10/3(土)14:30 ●10/4(日)11:00

	11:00	14:30	18:30
9/11(金)		『洛東江』	『ピアコル』
9/12(土)	『洛東江』	『ピアコル』	
9/13(日)	『ピアコル』	『洛東江』+上映後講演(約60分)	
9/18(金)	『未亡人』	『地獄花』	『お金』
9/20(日)	『地獄花』	『未亡人』	
9/21(月・祝)	『お金』	『地獄花』	
9/22(火・休)	『未亡人』	『お金』	
10/2(金)		14:20～開会式+『自由夫人』+上映後講演(約30分)	『嫁入りの日』
10/3(土)	『自由夫人』	『嫁入りの日』	
10/4(日)	『嫁入りの日』	『自由夫人』	

各回定員100名。発券・開場は各回45分前から行い、定員に達し次第締切となります。